

単元構想シート

X 中学校 第 I 学年 国語 科 単元名 「 詩の紹介文を書こう 」

全 3 時間

単元目標
(育成したい資質・能力)

(知識及び技能)○比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し、使うことができる。(I)オ(思考力、判断力、表現力等)◎文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる。C(I)エ(学びに向かう力、人間性等)○言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとしている。

言語活動

詩の紹介文を書き、交流する。
そのための構想を、付箋やYチャートを使って交流し、深める。

単元の流れ ○主な学習活動 □指導上の留意点	○「読み解く力」を育成するための手立て	「読み解く力」の育成に重点を置いた目指す児童生徒の姿	
		A：文章・グラフ・図から	B：やりとりから
<p>第一次【第1時】</p> <p>①詩の紹介が単元のゴールだと知り、詩に込められた筆者の表現の工夫、効果について考える。</p> <p>②詩を音読し、初めて読んだ感想を書く。</p> <p>③基本的な表現技法について振り返る。</p> <p>□便覧や「朝のリレー」「野原はうたう」の際のノートを参考にするように指示する。</p> <p style="text-align: right;">発見・蓄積</p>	<ul style="list-style-type: none"> 理解に向けて、詩の表現技法を確認する。 情報を書き出した後に、分析・整理し、それを基に紹介文を書く。 今回の学習の流れを参考にして、自分で再度紹介文を書く。 	<p>①文章や資料等から、目的に応じて情報を取り出す</p> <p>・詩の表現技法に気付くことができている。</p>	<p>①相手の言葉、しぐさ、表情をもとに相手の思いを感じ取る</p> <p>・交流を通して、使われている詩の表現技法に気付くことができている。</p>
<p>第二次【第2時】</p> <p>④「一枚の絵」について、描かれた心情や情景、表現について考える。</p> <p>□付箋に気付いたことを書き出す。</p> <p>⑤班で交流し、「心情や情景」「表現の工夫」「自分の感想」に分けられたYチャートに付箋を分類する。</p> <p>⑥班で交流したYチャートを見ながら、詩の紹介文を書く。</p> <p>□絵を描く欄を設け、書くことが苦手な生徒が自分のイメージを具体化していくための手掛かりとする。</p> <p>□この後、別の詩についても紹介文を書くため、記述については5行程度とする。</p>	<p>◇評価の視点</p> <ul style="list-style-type: none"> 表現技法に気付くことができた。 詩に読まれている心情や情景を読み取れている。 表現の工夫があることで、どのような効果を生んでいるか考えられた。 	<p>②様々な情報を比較し、目的に応じて分析したり、整理したりする</p> <p>・複数の描写を比較、分析し、結び付けて心情や情景を解釈している。</p>	<p>②相手の思いや意図を自分の考えや経験と比較しながら整理する</p> <p>・Yチャートを基に、新たな視点に気付くことができている。</p>
<p>第三次【第3時】</p> <p>⑦書いた詩の紹介文を発表する。</p> <p>□それぞれの紹介文を聞いて、どんなところがわかりやすいか、どうすればもっとわかりやすくなるかを考える。</p> <p>⑧友達の発表を聞いて、気付いたことや分かったことをもとに、「朝」「未確認飛行物体」のどちらかを選んで、再度紹介文を書く。</p> <p style="text-align: right;">再構築</p>		<p>③解釈した内容を経験や知識と結び付けながら考えを深めたり、創造したりする</p> <p>・「朝のリレー」や「野原はうたう」で学習したことを基に、詩のよさを感じ取っている。</p>	<p>③やりとりを通して、相手の思いや意図を踏まえながら、自分の考えを確かなものにしたたり、創造したりする</p> <p>・Yチャートを踏まえて、どういう詩かを明確にしている。</p>